

都道府県立図書館職員を対象とした専門研修実施要項（案） （令和7年度）

目的：

多様化する都道府県立図書館の役割と責任について、様々な状況に置かれている全国の都道府県立図書館の状況を理解し、都道府県立図書館に寄せられる大きな期待を受け止め、各都道府県域の図書館力向上に向けて、考え行動する図書館職員の育成を目指します。

令和7年度の研修テーマ：図書館と社会の未来を創る（仮）

都道府県立図書館の役割と責任は、文部科学省による「図書館の設置と運営上の望ましい基準（平成13年制定、平成24年12月改訂）」（以下、「基準」）を根拠として、各都道府県が独自に取り組んでいます。「基準」の改訂から12年が経過し、『子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（令和5年3月）』に、「図書館の健全な発展に資することを目的として、「望ましい基準」について、国は、関係者の意見を聴き、読書バリアフリー法やICTの急速な発展等を踏まえた見直しを検討する」と明記されました。また、令和6年12月17日に発足した「図書館・学校図書館の運営の充実に関する有識者会議」では、「基準」の見直しも視野に入ってきているところです。

これらを受け、令和7年度の研修テーマを「図書館と社会の未来を創る」とし、「基準」の改訂案を研修の成果物として作成することによって、最新の動向を踏まえた実践的な企画力とコミュニケーション力の向上を目指します。

主催：〇〇〇〇（全国公共図書館協議会に相談中）

共催：文部科学省、〇〇〇〇（他、調整中）

定員：50名程度（原則として各都道府県立図書館から1名ずつ）

場所：国立社会教育研究所社会教育実践研究センター
東京都台東区上野公園12-43 電話：03-3823-0241

日時：令和7年〇月〇日（〇）午後1時から〇月〇日（〇）午後3時まで

スケジュール：

		12:30	13:00	14:00	14:10	15:10	15:20	17:20
		受付	講義①	休憩	講義②	休憩	ワークショップ①	
8:15	8:30		12:00	13:00	14:30	15:00		
受付	ワークショップ②	昼休憩	ワークショップ③	講義③				

研修内容の概要（講師は仮）

講義①（1時間）：『都道府県立図書館の使命から考える求められる図書館像』

講師：野添俊比古（青山学院大学教育人間科学部教授）

講義②（1時間）：『論点整理：都道府県立図書館を巡る今日的課題』

講師：小林隆志（鳥取県立図書館司書主幹）

ワークショップ①（2時間）

『ワークショップガイダンス：目的・内容・手順・まとめ方を理解する』

ファシリテーター：森いづみ（県立長野図書館館長）

予め受講生が考えてきた改訂案をグループ内で共有し、ブラッシュアップする

ワークショップ②（3時間半）

グループごとに『図書館の設置と運営上の望ましい基準の改訂に向けた提言』
をまとめる

アドバイザー：講師一同

ワークショップ③（1時間半）

グループごとに発表・講評

講評：文部科学省、講師一同

講義③（30分）：『研修の振り返りから、明日からの自分を考える』

講師：豊田恭子（東京農業大学教職・学術情報課程教授）

留意事項

- ・令和7年度はテストケース年と位置付け、運営は講師4名を中心に行う。
- ・集合研修を基本として、オンラインの配信は行わない。

調整中の事項

- ・開催にかかる費用：講師旅費（12万円～15万円程度）
全国公共図書館協議会の事業に位置付けられないか相談中
企業からの寄付（スポンサー・ネーミングライツ）等
- ・会場確保、設備・機器の仕様について社会教育実践研究センターの協力をいただく
- ・開催通知の発出元：文部科学省
- ・全体スケジュール（案）
研修要項、募集要項の決定（令和6年度内）⇒募集（令和7年度早々）
⇒事前学習⇒当日⇒事後のフォローアップ